

提言第13号 胃瘻造設・カテーテル交換に係る死亡事例の分析

事例5

< 事例概要 >

（胃瘻造設）

・ 80 歳代、誤嚥性肺炎、胃管の自己抜去を繰り返している介護施設入所中の患者。BMI 12.3 kg/m²。血清アルブミン値3.0 g/dL。

・ 経口摂取が困難なため、他医療機関より胃瘻造設を依頼。術前にCT 検査を実施。

・ 経皮内視鏡的胃瘻造設術で、バンパー型カテーテルを使用し、胃体前壁小彎に造設。

・ 術後 1 日目、白湯を注入後に四肢冷感、腹痛、呼吸促迫あり。初回の栄養剤の注入を開始した約 2 時間半後、心肺停止で発見し、術後 3 日目に死亡。

・ 死因は、腹膜炎（疑い）。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。